

## 世界一の千葉モノレールを探ろう

日時：令和5年9月18日（土） 13：10～15：30

場所：千葉モノレール車両基地

参加者：17名

講師：千葉都市モノレール運輸部車両課 林 達也先生

モノレールは排気ガスを出さない、環境にやさしい乗り物です。



講師の林先生



まずは研修室でモノレールについて学びました



洗車機のような

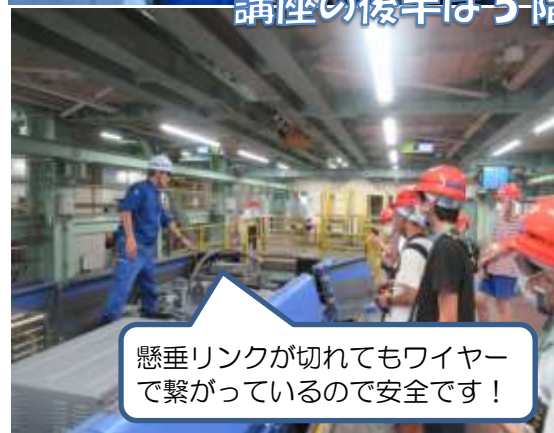


線路のメンテナンスをする軌道作業車です。



普段は線路で見えない台車の部分

講座の後半は5階建ての車両庫の見学を行いました！



懸垂リンクが切れてもワイヤーで繋がっているので安全です！



約25万km走るとタイヤを交換します。

### 【受講生の感想】

- 列車がもしも線路から落ちそうになったときに設けられているワイヤーや、車体が駅のホームにぶつかりそうになった時に役立つオレンジ色のタイヤみたいなものなどの話を聞いて、お客さんのことを考えて作られているのだと思いました。講師の林さんの話も面白かったです。運転席に座れたことも嬉しかったです、楽しかったです。
- 今日は世界一のモノレールについて学びました。千葉市のモノレールは、全長15.2kmと世界一の長さということを知り、凄いなと思いました。懸垂式モノレールは跨座式のものとは違い急勾配や曲線でも走れるということがわかりとても勉強になりました。また、モノレールは安全面にもとても気を使って働いている人の協力あってのことだということを知ることができました。今日はありがとうございました。
- いつもは見ることのない場所を見ることができ、モノレールの仕組みを理解することができてとても新鮮でした。モノレールについて詳しく、いろいろな角度から見ることで、僕もモノレールを作りたいと思いました。モノレールにしかない仕組みや、モノレールに込められている思いなども学べてよかったです。自分が将来ロボットを作るとき等に活かしたいと思います！
- この講座に参加するのは2回目です。去年は見られなかった場所が見られたり、撮れなかった写真が撮れたりしたのでよかったです。自分は千葉都市モノレールをよく使うので、そういうものの秘密も知ることができてよかったです。
- モノレールは、どうやって動いていたり、ぶら下がっていたりするのかが疑問でした。見学をしてみるとタイヤが箱の中を走っていたり、台車と車両がつながっていたりすることがわかりました。また、工具などは必ず元にあった場所に戻すなど、整備している人が安全を最優先にしていることがわかりました。